

「腫瘍遺伝学セミナー」を開催

2017 年 6 月 15 日

6 月 15 日（木）に、金沢大学がん進展制御研究所 4 F 会議室において、（公財）がん研究会がん研究所 細胞老化プロジェクトリーダー 高橋暁子 先生を招いて、腫瘍遺伝学セミナーを開催しました。

セミナーでは、細胞老化の話題を中心にご自身が続けてこられた SASP の制御機構や、SASP と発がんとの関係に関する研究成果についてお話しいただきました。とくに、細胞老化にともなってエクソソームによる核酸輸送など、とても興味深い最新の話題も提供して頂きました。

セミナーには、研究所内外から教員、博士研究員、大学院生など約 40 名が参加し、発表後も活発な質疑や意見交換が続き、若手研究者にとっても大変有意義なセミナーとなりました。

（腫瘍遺伝学研究分野 大島）



細胞老化の生体機能 ～がん抑制と発がん促進～

講演者：(公財)がん研究会がん研究所
細胞老化プロジェクトリーダー

高橋 暁子先生

日時：平成29年6月15日(木) 17:00～18:00

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

私たちの体を構成する細胞は、加齢と共に「細胞老化」をおこします。細胞老化には、がん抑制と発がん促進という相反する機能を持つことが明らかとなってきました。とくに老化細胞が炎症性蛋白質を分泌するSASP(Senescence-associated secretory phenotype)をおこすことで、がんをはじめとする多くの疾患が引き起こされると考えられています。

高橋先生のグループはこれまで、細胞老化でSASPがおこる分子メカニズムの研究を続けており、新しいSASP因子として、エクソソームが細胞の恒常性維持機構として働いていることを発見しました。

今回は、細胞老化に関して幅広くご講演していただきます。皆様ふるってご参加下さい。